

原市場聖書教会

NO. 933

週 報

年間聖句

15, 私たちはイエスを通して、賛美のいけにえ、御名をたたえる唇の果実を、絶えず神にささげようではありませんか。

16, 善を行うことと、分かち合うことを忘れてはいけません。そのようないけにえを、神は喜ばれるのです。

ヘブル 13章 15～16節



2023. 2. 19

主日礼拝

2023年2月19日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 献金：本多守兄
受付：本多祐子姉

祈	り		司	会	者
ワーシップ賛美		「土の器」	一		同
使徒信条			一		同
主の祈り			一		同
賛美		聖歌521番「キリストにはかえられません」	一		同
献金			一		同
感謝の祈り				本多守兄	
聖書朗読		マタイ14章22節～33節	司	会	者
説教		「自分に正直なペテロ」		若村和仁師	
黙祷			一		同
賛美		聖歌298番「世にあるかぎり」	一		同
頌栄		聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	一		同
祝祷				若村和仁師	
後奏				奏楽者	
報告			司	会	者



●コロナウィルス感染が落ち着くまで
昼食会はお休みいたします。



「自分に正直なペテロ」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

マタイ14章22節～33節

22, それからすぐに、イエスは弟子たちを舟に乗り込ませて、自分より先に向こう岸に向かわせ、その間に群衆を解散させられた。

23, 群衆を解散させてから、イエスは祈るために一人で山に登られた。夕方になっても一人でそこにおられた。

24, 舟はすでに陸から何スタディオンも離れていて、向かい風だったので波に悩まされていた。

25, 夜明けが近づいたころ、イエスは湖の上を歩いて弟子たちのところに来られた。

26, イエスが湖の上を歩いておられるのを見た弟子たちは「あれは幽霊だ」と言っておびえ、恐ろしさのあまり叫んだ。

27, イエスはすぐに彼らに話しかけ、「しっかりしなさい。わたした。恐れることはない」と言われた。

28, するとペテロが答えて、「主よ。あなたでしたら、私に命じて、水の上を歩いてあなたのところに行かせてください」と言った。

29, イエスは「来なさい」と言われた。そこでペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスの方に行った。

30, ところが強風を見て怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。

31, イエスはすぐに手を伸ばし、彼をつかんで言われた。「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか。」

32, そして二人が舟に乗り込むと、風はやんだ。

33, 舟の中にいた弟子たちは「まことに、あなたは神の子です」と言って、イエスを礼拝した。

今週のワーシップ賛美

土の器

作詞・作曲 田中 瑠美子

The musical score is written in a single system with a key signature of one flat (Bb) and a common time signature (C). It consists of nine staves of music, each with a line of Japanese lyrics underneath. Chord symbols are placed above the notes. The lyrics are: 1. つちのう一つわ 欠けだらけのわたし 2. その欠けからあなたのひ 3. かりがこぼれか がやく一つちのう一つわ ヒビだら 4. けのわたし そのヒビからあなたの 5. あいがあふれながれるこんなわたしでさえ 6. も主はそのままであいして下さるだけ 7. らいま主のあいになんこたえたいわたしのすべて 8. でもちいてください主よ わたしにしかで 9. きないことがかならずあるから

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

御言葉紹介

★ 2023年2月15日御言葉

マルコの福音書 2章 16～17節

16, パリサイ派の律法学者たちは、イエスが罪人や取税人たちと一緒に食事をしているのを見て、弟子たちに言った。「なぜ、あの人は取税人や罪人たちと一緒に食事をするのですか。」

17, これを聞いて、イエスは彼らにこう言われた。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人です。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためです。」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より引用。

●イエス様は聖書の時代罪人とされていた人々や、取税人（税金の取り立て）で人々から嫌われていた人たちと共に食事をしていたということです。聖書の時代から食事をもにすることは、相手との和解のしるしでもあったのです。ですから、イエス様が当時人々から嫌われ罪びと扱いされていた人々たちと食事をしている様子を見た、聖書の専門家（律法学者）たちは、イエス様の弟子たちに「なぜ、あの人は取税人や罪人たちと一緒に食事をするのですか。」と問いかけたのです。この当時の権威のあった律法学者たちは、罪びとを裁くことに熱心であり、弱さのある人、失敗をし罪を犯した人に寄り添い助けるということができない人たちであったのです。

また、この当時の、取税人が嫌われてしまっていた理由は、税金の取り立ての時に特に規定がなく自由に上乗せして自分たちの収入を得ていたからでした。全員が悪い取税人というわけではなかったはずなのです。しかし、中には税金と称して理不尽な高額なお金を上乗せして収税し、ローマに収める税金との差額を大きく作り、たくさんお金を儲け、贅沢な暮らしをしていた取税人もいたのです。そのため、取税人というと人々に罪びと扱いされる職業となっていたのです。ですから、職業が「取税人」と聞くだけで、人々から嫌われてしまうようになっていたのです。

イエス様は、人を偏見で見るとお方ではありませんでした。一人一人の魂の心を見られる方でした。ですから、取税人や、病のため罪人というレッテルを張られていた人々の心を見られ、その人達の心に愛を届け、罪人（神様から離れてしまっている人々）を救いに導きたかったのです。

神様との良い関係から離れてしまっている人々に、イエス様の側から近づいて下さったのです。迷える子羊を探し当てて下さるのが神様の愛です。その神の愛を見える形で現されたのが、イエス様なのです。

イエス様は、17節でなぜ罪人扱いされている人と食事をするのかについて説明しました。その内容は、「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人だ」と答えました。イエス様は正しい人だけを見つけ、罪びとを裁くために来たのではないと語るのです。神様から離れている人（人間すべて）を救うために神であられる方が人としてこの地上に来られたのです。創造主なる神様は、私たち人間の本質をよく知っておられるのです。人は、愛され、大切にされてこそ、自分の罪に気づき、悔い改めに導かれ、神の愛を素直に受け入れ、罪から解放されるのです。まず愛を受け、大切にされなければ、成長すること、変わることはできないのです。しかし私たち人間は相手を大切にすることができず人を知らずのうちに傷つけてしまう事があるのです。一人一人が、人の得になる神の喜ばれる言葉を発することができる者でありたいです。そのためには、神の愛を信じ神の愛に目を向け続ける者でありたいです。では今日も一日守られるようお祈りしています。

原市場聖書教会
若村和仁

報 告

★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

★原市場聖書教会での礼拝は以下の感染防止対策を継続いたします。

1. 体調のすぐれない方は zoom によるオンラインでの参加をご検討ください。
2. 会堂での礼拝参加の際は、極力間隔をあけてお座りください。
3. 会堂に入られる際には、マスクの着用、手の消毒をよろしくお願いします。
4. 当面の間、食事を伴う交わりは自粛いたします。

●本日も礼拝後自家焙煎コーヒーをご用意しています。お時間のある方お交わり下さい。

☆**公示：日本同盟基督教団教規第47条に従って、定期教会総会を下記の通り開催いたします。**

・日時：3/5（日）13：30より ・場所：原市場聖書教会礼拝堂

教会員の方はご参加お願いいたします。やむを得ない事情で出席できない方は、委任状の提出を若村師または、若村めぐみ姉までお願いいたします。

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・2月23日（木） 聖書に基づくSDGs （場所：飯能キリスト聖園教会）
- ・2月21日～2月24日（火～金） あまやどり（日高市地活）（場所：高麗聖書教会）

本日午後の予定

☆自家焙煎珈琲タイム

次週礼拝（2月26日〈日〉）

司 会：本多崇兄

聖 書：マタイ15章1節～11節

説 教：「口から出るものが人を汚す。」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：ワーシップ賛美「私たちのこの口は」

聖歌444、聖歌477、聖歌383

受 付：本多節子姉 献金感謝祈祷：渡辺恵姉

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
2月12日（日）	教会学校ハレルヤキッズ	2人			
	礼 拝	0+2人	2+4人	8+6人	22（10+12）人
		（※各集会「対面+オンライン」表記となります。）			
	夕 礼 拝			希望者がおられませんでした。	
2月15日（水）	祈 り 会		1人	4人	5人

集会案内

2月21日（火）	こひつじタイム	10:30～13:00
2月22日（水）	祈 り 会	10:30～12:00
2月26日（日）	ハレルヤキッズ	09:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

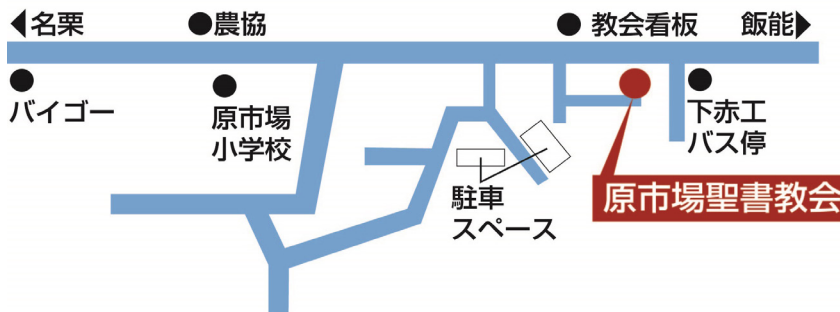
「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ ややはやく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか
わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッス	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッススペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁